

がえてきたのです。

ただし、残念ながら柱穴が浅い理由とその「裏技」については謎が深まるばかりで、今後の課題とします。

昨年のカムイタブコブ下遺跡の発掘調査では、チセの可能性のあるあらたな柱穴が見つかりました。今年の秋にはそこを発掘する計画とのことですので、それまでにボケた頭を鍛え直したいと考えています。

※本研究は、日本学術振興会・科研費15H03272「小氷期最寒冷期と巨大噴火・津波がアイヌ民族に与えた影響」(研究代表者:北海道博物館、添田雄二)の助成を受けて行われました。

■参考文献

小林孝二(2010)アイヌの建築文化再考—近世絵画と発掘跡からみたチセの原像—北海道出版企画センター

## 伊達市の文化財が紹介された本・雑誌・TV番組・展示

### 本・雑誌

■巨理伊達家資料

- 仙台市博物館「伊達政宗生誕450年記念 特別展伊達政宗図録」2017年10月【政宗公御軍記 他】
- 碧水社「週刊ビジュアル戦国王」2018年2月【成実文書・成実甲冑・館山チャシ】

■北黄金貝塚

- 青野友哉「北海道噴火湾沿岸における縄文貝塚の貝種組成からみた環境変遷(予察)」『北海道考古学』第53輯, 2017年3月
- 今村啓爾「縄文文化」平成29年10月 ニューサイエンス社【北黄金貝出土の骨刀写真】
- ブラネットライツ「時空旅人」VOL.41 平成29年11月 三栄書房【縄文人の頭蓋骨・男女の顔イラスト・海進イラスト・海退イラスト】
- 北海道総合政策部「北海道新幹線を活用した教育旅行ガイドブック」平成30年2月【北黄金貝塚】

■有珠モシリ遺跡

- 藤尾慎一郎「弥生時代って、どんな時代だったのか?」平成29年3月 朝倉書店【有珠モシリ遺跡】
- TABIZURU FOUNDATION「旅鶴 夏・秋号」平成29年7月
- 東京大学大学院人文社会研究科附属常呂資料陳列館(北海道北見市)「第7回企画展示 動物を祀る—オホーツク文化の動物観—」平成29年8月1日~12月25日
- 大島直行「縄文人はなぜ死者を穴に埋めたのか—墓と子宮の考古学—」2017年9月 国書刊行会【貝輪を付けた人骨】
- 大阪府立弥生文化博物館「海に生きた人びと—漁撈・塩づくり・交流の考古学—」平成29年10月 【貝製品】
- ユーキャン「日本歴史大地図」平成29年11月【北黄金貝塚・有珠モシリ遺跡】

■有珠4遺跡・カムイタブコブ下遺跡・オセコツ遺跡

- 添田雄二ほか「小氷期最寒冷期と巨大噴火・津波がアイヌ民族に与えた影響II」『北海道博物館研究紀要』第2号, 2017年3月
- 青野友哉「社会復元のための人骨・遺物による埋葬環境判別法—17世紀のウスコタンにおける墓と社会—」安斎正人編『理論考古学の実践』理論篇, 2017年6月, 同成社

- 田村朋美ほか「北海道伊達市有珠オヤコツ遺跡出土玉類の材質に関する再検討」『函館工業高等専門学校紀要』第52号, 2018年1月
- 浜島書店「新詳日本史」平成30年2月【南海産の貝輪とイモガイ・クマ彫刻のスプーン】
- 相原淳一「縄文から続縄文・弥生への移行期における葬送と社会」『別冊季刊考古学』27号 平成30年3月 雄山閣【有珠モシリ遺跡】

### TV番組・展示

- 北海道立文書館 企画展「開拓使時代の北海道を生きた人びと」2017年7月25日~8月24日【伊達邦成】
- 日本テレビ「超門O×クイズ 真実か?ウソか?」2017年11月24日放送【成実公甲冑】
- NHK総合「歴史秘話ヒストリア 北の大地に夢をひらけ! お殿さまの北海道開拓史」2017年12月8日放送【伊達市の歴史・文化財】
- 北海道テレビ放送「HTB開局50周年 イチオシ!スペシャルへえ!ほお~150年 あなたと選ぶ重大ニュース」2018年3月6日放送【伊達市の歴史・文化財】

## Newsletter【噴火湾文化】第12号

- 編集・発行 伊達市噴火湾文化研究所  
〒052-0031 伊達市館山町21番地5  
TEL. 0142-21-5050 FAX. 0142-22-5445  
E-mail bunka@city.date.hokkaido.jp  
URL <http://www.city.date.hokkaido.jp/funkawan/>

- 印刷 (有) 共立印刷  
〒052-0022 伊達市梅本町4番地4  
TEL. 0142-23-2175 FAX. 0142-25-1971

2018年3月31日発行